

2026年2月6日

ペロブスカイト太陽電池材料に関する基本合意書締結について

稀産金属株式会社（本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長：多湖哲也。以下、稀産金属）は、伊勢化学工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役兼社長執行役員：粕谷俊郎。以下、伊勢化学工業）と、ヨウ素系ペロブスカイト太陽電池材料の開発・製造・販売に関する基本合意をいたしましたのでお知らせいたします。

稀産金属は、先端産業の高純度化合物の製造において長年の実績があり、大阪府の本社工場にて既にペロブスカイト太陽電池向けの材料を製造しているほか、子会社 KI Chemical 株式会社（以下、KI Chemical）が秋田県に工場を新設し、ヨウ素系ペロブスカイト太陽電池材料の増産を計画しております。

伊勢化学工業は、千葉県、宮崎県に拠点を持つ日本でのヨウ素生産量トップシェアの企業であり、ヨウ素原料の安定した供給並びにヨウ素回収及びヨウ素化合物高純度化等のノウハウを有しております。

このたび、稀産金属は、伊勢化学工業と共同でペロブスカイト太陽電池の材料向けヨウ素化合物の原料提供・開発・製造・販売を目的とした、「基本合意書」(MOU)を締結いたしました。

これにより、ヨウ化鉛をはじめとしたペロブスカイト太陽電池向けの安定したヨウ素原料の確保から、ペロブスカイト太陽電池グレードのヨウ素系原材料の製造及び販売まで一貫した体制を確立いたします。

KI Chemical では、2027年までにペロブスカイト太陽電池1GWに相当する規模のヨウ化鉛生産工場の設立を予定しており、これは、経済産業省の策定する次世代型太陽電池戦略の2030年の次世代型太陽電池生産目標である、1GW/年を充足する規模となります*。

また、稀産金属と伊勢化学工業は、同戦略の2040年の次世代型太陽電池生産目標である、数GW/年に対してもヨウ化鉛を十分に供給できるよう、既にヨウ素原料及び工場用地を確保しており、今後、両社で協力してペロブスカイト太陽電池向けヨウ素系材料のサプライチェーン強化に努めてまいります。

* 次世代型太陽電池の導入拡大及び産業競争力強化に向けた官民協議会 「次世代型太陽電池戦略」
(令和6年11月)

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/perovskite_solar_cell/pdf/20241128_1.pdf

ペロブスカイト太陽電池

ペロブスカイト太陽電池は、日本が開発をリードする次世代型太陽電池であり、薄く・軽いことから、既存の太陽電池では設置できない場所で発電ができる太陽電池として近年注目されております。

ペロブスカイト太陽電池の発電層には、ヨウ素化合物が複数使用されておりますが、ヨウ素は日本が世界 2 位の生産国であり、日本国内で原材料の確保ができる点でも注目されております。

稀産金属株式会社

<https://www.kisankinzoku.co.jp/>

伊勢化学工業株式会社

<https://www.isechem.co.jp/>